

産業戦略室

近年、画像医療システム産業は、医療 ICT の発展や医療機器プログラムの法定化、ヘルスソフトウェアへの広がりや AI、IoT、ビッグデータ等の技術革新が進み、スタートアップ、ベンチャー、異業種の新規参入や GAFAM 等の巨大企業の参入等業界を取り巻く環境は刻一刻と変化してきている。また、2021 年度から 2022 年度に向けた外部環境変化として、新政権の発足、コロナ経済対策、デジタル庁の動向、米国の対中規制、グローバルな包括的経済連携、各国の国内産業優遇政策、パンデミック下に明らかとなった医療機器の安定供給問題、および日本政府が掲げる 2050 年にむけたカーボンニュートラルなどがあつた。

産業戦略室は、このような外部環境変化に、画像医療システム産業としてどのように対応して行くかを常に考え、今後も他団体との連携を蓄積し、対外的な情報発信・政策提言の実績を着実に積み上げ、それらを JIRA 全体戦略の企画・立案・発信へ結びつけていく。

2022 年度の JIRA 活動基本方針は、「JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025」にある 4 つのビジョンの実現を目指し策定された。今後 3 年間も JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025、年度の JIRA 活動基本方針に基づき、さらにこの路線の強化を進めていくとともに、産業戦略の立案機能の強化を図る。

2022 年度における産業戦略室の活動は、2022 年度 JIRA 活動基本方針の重点課題にあがるウィズコロナ・ポストコロナにおけるニューノーマルに向け、

DX(Digital Transformation)の拡大

医療従事者の業務効率向上への貢献

感染防止対策の啓発

会員企業の環境変化に伴う共通課題への支援(製品プロモーション、人材育成等)

の推進に取り組む。

“ DX の拡大 ”、“ 医療従事者の業務効率向上への貢献 ”については、

- ◆ 健康・医療データの取り扱い、社会実装拡大に向けたデータ利活用基盤の整備
- ◆ AI やデジタルヘルスの保険償還の予見性向上等の推進

に関して、医機連との連携強化、アカデミアとの協働、会員ニーズの取得を進め、行政との意見交換会等での提言等の外部発信力の向上、部会・委員会への支援活動を行う。

“ 感染防止対策の啓発 ”については、

- ◆ 感染防止対策 WG(経済部会)、販売・保守委員会(法規・安全部会)の支援

を行い、啓発活動を推進する。

“ 会員企業の環境変化に伴う共通課題への支援 ”については、

- ◆ 会員企業の事業強化や人材育成につながるウェビナーの開催
- ◆ 外部環境変化に対する画像医療システム産業としての対応強化
- ◆ 展示会の Web 化による企業プロモーション活動の場の提供

に関して、部会・委員会への支援活動を行う。

また、外部環境変化への対応を進めるにあたり、テーマの選択と集中、全体最適なりソース配分を考えながら、産業戦略の立案機能の強化を進めていく。

以下に、2022 年度 産業戦略室活動計画の全体を示す。

1. 本会産業戦略の企画・立案・発信

- (1) 政策企画会議主催・運営による本会産業戦略実行強化
- (2) 研究会、勉強会等を開催し、画像医療システム産業の方向性を提示
 - ◆ 画像医療システム産業研究会を、年間 4 回の Webinar として開催
- (3) 本会産業戦略のプレスリリース企画、推進
 - ◆ ITEM in JRC2022 JIRA 記者会見(2022 年 4 月)
 - ◆ JIRA 会長 年頭記者会見(2023 年 1 月)

- (4) JIRA 画像医療システム産業ビジョン 2025 の発信
 - ◆ JIRA 内部での共有促進
 - ◆ 外部への積極的な発信
- (5) 工業会活動の基盤強化・
 - ◆ JIRA 会員への付加価値向上を目指したセミナー事業の創設
 - ◆ 集合型からネット参加型への活動形態の変革
 - ◆ 計画的に人材を確保するための仕組みの構築
 - ◆ 産業戦略の立案機能の強化

2. 年度活動基本方針の提案、各部門が作成する事業計画、事業活動報告の取り纏め

- (1) 2021 年度 JIRA 事業報告の取り纏め (2022 年 4 月～6 月)
- (2) 2021 年度事業報告、2022 年度活動基本方針及び事業計画に関する社員総会資料作成準備 (2022 年 5 月～6 月)
- (3) 2023 年度 JIRA 活動基本方針の提案、取り纏め (2022 年 10 月～12 月)
- (4) 2023 年度 JIRA 事業計画の取り纏め (2023 年 1 月～3 月)

3. 産業戦略に関する内外の情報収集・調査・根拠データ作成、発信

- (1) 関係省庁、医機連からの情報収集と会員へ配信
- (2) 中長期課題の設定
 - ◆ 2022 年度はプログラム医療機器に関して検討する
 - ◆ 例: 会員の事業展開の方向性把握、海外を含めた動向調査、ポジションペーパーの作成等
- (3) 産業戦略に関する内外の情報収集・調査と DATA BOOK での発信
 - ◆ DATA BOOK2022 発行 (2022 年 4 月)
 - ◆ DATA BOOK2023 企画・執筆・編集 (2022 年 12 月～2023 年 3 月)
- (4) 受注統計システムの立ち上げ支援 及び JIRA 市場統計新システムの運用支援

4. 産業戦略に関する行政機関、関係機関等との交渉・調整等の活動

- (1) 内閣府、厚生労働省、経済産業省等、省庁との対話会等への提言作成支援
 - ◆ 次世代型保険医療システム構築への提言
 - ◆ AI(人工知能)の社会実装拡大に向けた環境整備への提言
- (2) 外部団体と連携した提言活動強化
 - ◆ 日本メディカル AI 学会学術集会参画 (2022 年 6 月)
 - ◆ 医機連、医療機器センター、AMED、MEJ、日本メディカル AI 学会、JRS、JART、JSRT 等との連携